

不登校の背景を的確に捉えた、多面的な支援の実現に向けて ～令和5・6年度 板橋区青少年問題協議会提言（概要版）～

令和5・6年度の協議テーマについて

テーマ設定の経緯

板橋区立の小中学校において不登校児童・生徒数が過去に類をみないほど増加しており、将来の社会を担う子どもたちが社会的に自立できるための環境整備の必要性が急務となっている。本協議会において、個々の児童・生徒や家庭の状況に応じた適切な対応を図る方策について協議することとした。

協議すべき課題と、課題解決に向けての専門部会の設置

◎多様化している不登校の要因を適切に把握し、個々の状況に応じた支援をしていく必要性

➡「アプローチ手法検討部会」

◎幅広い領域にわたる支援機関等との連携を含め、多種多様な居場所の機能をさらに充実させる必要性

➡「居場所検討部会」

提言に至るまでの協議経過

○第1回全体会（令和5年10月）

・審議テーマの設定及び専門部会の設置について

●第1回専門部会（令和6年2月）

・不登校の要因・原因・状態を鑑み、想定されるアプローチ手法検討について（アプローチ手法検討部会）

・不登校の要因・原因・状態を鑑み、有効な居場所・あるとよい機能について（居場所検討部会）

●第2回専門部会（令和6年7月）

・不登校の背景を的確に捉えた、多面的な支援に向けて「何が必要か」

●第3回専門部会（令和6年9月）

・提言内容の調整及び提言案の構成

○第2回全体会（令和6年11月）

・提言案作成に向けての専門部会協議経過報告

●第4回専門部会（令和7年2月）

・提言案の調整

○第3回全体会（令和7年3月）

・提言案の審議

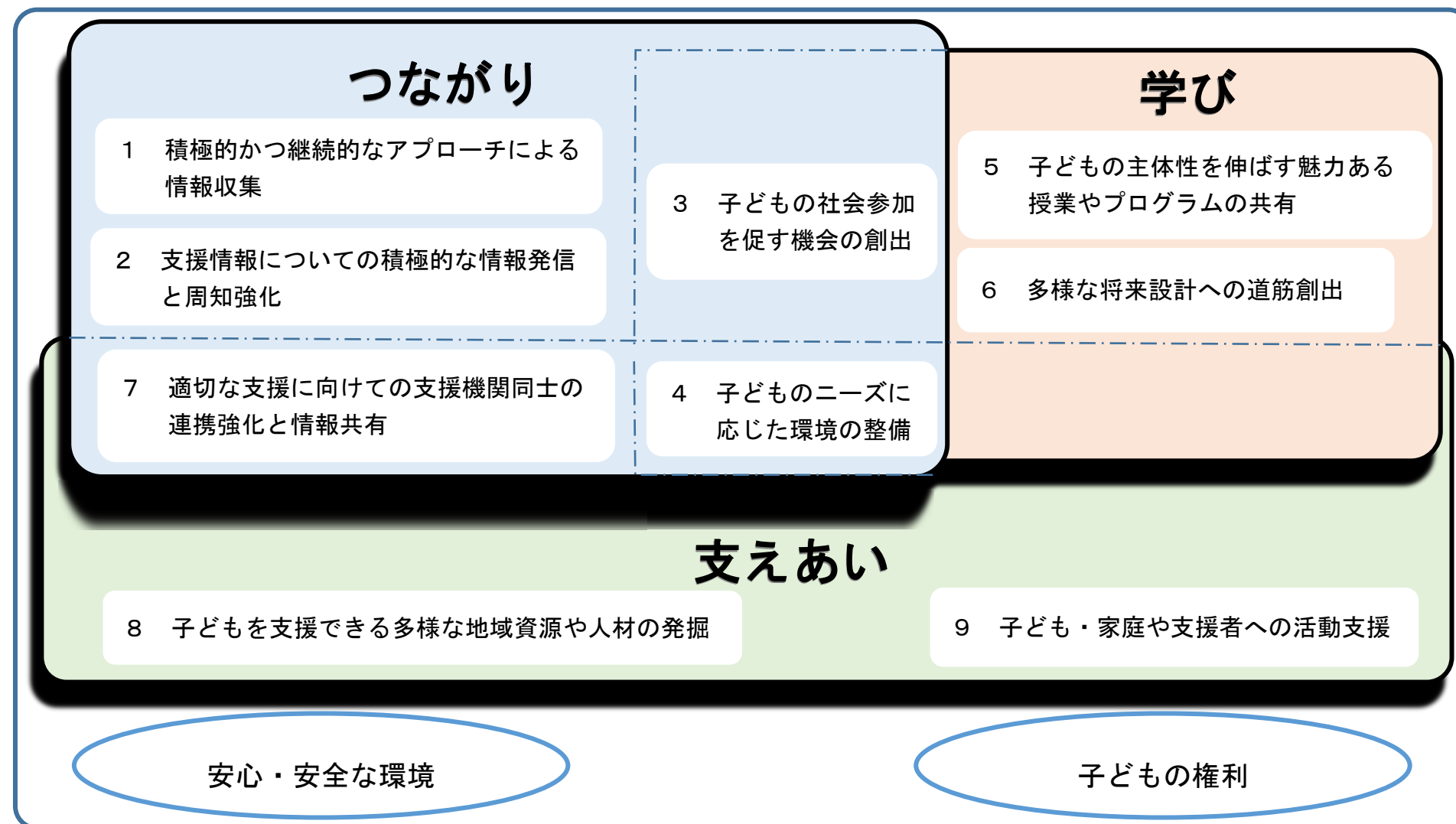
子どもの意見聴取

（安心・安全な教育を検討するためのアンケート）

・小中学校在学時に不登校の時期があった高校生の生の声を聴取。（都立高等学校2校の定時制生徒 40名）

令和5・6年度 板橋区青少年問題協議会提言

不登校の背景を的確に捉えた多面的な支援の実現に向けて、今後の事業施策に反映すべき「3つの観点」



事業施策において考慮すべきAARサイクル

